



2019年(令和元年)

7月19日発行

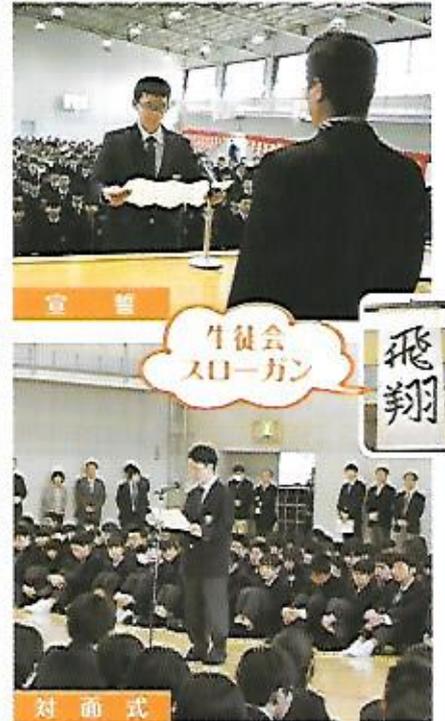
発行者：県立加茂高校PTA

編集：広報部

*6ページ目は定時制のページです。



入学式



宣誓

生徒会
入口一方向

飛翔

対面式

出席率
52.9%



授業参観 (PTA 総会)



PTA 役員紹介 (PTA 総会)

加茂高春秋

「奉仕の心」

新緑が鮮やかに映えるなか、元号も令和へと移り代わり、ひとつの時代が終わわり、新しい時代の幕開けとなりました。

昨年は創立70周年記念式典が開催され、その伝統は加茂高校の多くの先輩方により脈々と受け継がれており、伝統的な自由な校風と文武両道・挑戦を掲げられています。

この自由な校風の中から発想力、企画力、自治能力などが培われ、様々なことに挑戦できる素晴らしい人材が育成されるのではないのでしょうか。

毎日僅かな時間で構いません。奉仕の心を目を向けていただけたらと思っています。

奉仕は見返りを求めることなく、自主的に仕える行動、とてもすがすがしい気分になります。まずは身の回りの整理整頓、玄関掃除、食器洗いから始められてはいかがでしょうか。

豪キャンベラ大学の研究によれば、奉仕の心を学生に奨めたところ、自分に幸せを呼ぶ行動と回答される学生が多かったようです。

いつの日かバス停や駅の構内を掃除する高校生に出会えたら、感心されるでしょう。

保護者の皆様には、日頃からPTA活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。今年度も様々な学校行事等がたくさんあります。ぜひ、学校へと足を運んでいただき、子ども達の成長を楽しんでいただきたいと思っております。

(副会長 今井英樹)



加茂高校 応援団としてのPTA

PTA会長 肥田 彰吾

令和元年の本年度、PTA会長を務めさせていただきます。子ども達が自分らしく楽しく充実した学校生活がおくれるように先生方や保護者の皆様、また地域の皆様と協力して活動をして参ります。何卒ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

昨年副会長を務めさせていただきました、その際初めて加茂高校の門をくぐりました。歴史と伝統を学校全体の雰囲気から感じました。自由な校風を耳にしましたが、先生方はもとより生徒さん達の活発で生き生きとした姿に、これこそが加茂高校の魅力であり長年培ってきた文武両道の精神から来た伝統なのだろうと強く感じました。

寄り添って参ります。

一、子ども達に寄り添います。

学校生活(自由と規律)を応援します。加茂高祭を応援します。部活動を応援します。

一、先生方(学校)に寄り添います。

保護者の皆さんとの架け橋として応援します。共に子ども達の成長を応援します。

一、地域に寄り添います。

同窓会、後援会の皆さんと共に応援します。校外活動を応援します。

保護者の皆様には、いつどんな時も何があっても子ども達に寄り添い、わが子の応援団長であってほしいと願います。

子ども達が加茂高校で学んだ文武両道の精神と、応援していただいているすべての人々への感謝を胸に大きく羽ばたいていけるよう皆さんとともにPTAは加茂高校応援団員として活動を推進して参ります。



「令和元年」 新教育時代の幕開け

校長 藤掛賀津博

昨年4月に母校である加茂高校の校長に着任し1年余が過ぎました。また、昨秋には本校「創立70周年記念式典」を同窓会・生徒・保護者の皆さんと盛大に挙行ができましたこと、あらためて敬意と感謝を申し上げます。

さて昨年3月、文部科学省から高校の次期学習指導要領が発表されました。新教育時代の幕開けと云うに相応しい今回の改訂は「資質・能力の改訂」と言われており、目指す資質や能力が学習者(生徒)主体となっており、これが過去の改訂と比べての大幅な変更点です。また、大学入試の改革が高校教育の改革につながるなどの趣旨から、実に40年以上も続いた記憶力や知識量を問う「センター試験」が、探究の過程を重視した問題が多く出題される「大学入学共通テスト」へ現2年生から変わる事が決まりました。こうした高大接続改革を見据え、「学習内容を身につけるだけでなく、多面的・多角的な面から深く学ぶことでのような力をつけ、何が出来るようになるのか」が高校教育現場に求められているということと、そんな折、ある進路雑誌に掲載された「これからのAI時代を生きていくために必要とされる力とは？」という文章が目が留まりました。そこには「AI(人工知能)はめざましいスピードで進化を続けており、人間が行っている様々な仕事を代替していく可能性が

指摘されている。今の高校生が社会に出る頃には、AIによって多くの仕事の在り方が変わるだろうし、無くなっている仕事もあるかもしれない。そんなAI時代を迎えるにあたり、悪いておくべき、人だからその能力とは何だろうか」とありました。代替可能性が高い職業は選べ、代替可能性が低い職業は選べない。AI時代に求められる能力として「抽象的な概念を整理・創出していく力」「理解・説得・交渉といった高度なコミュニケーションを図っていく力」「多種多様な状況に対応していく力」があると分析されています。そして、急速な国際化・高度情報化が進む現代社会において、まさに豊かな人間性をもち、多様な人々や地域社会に対応し貢献できる人材が求められているともあります。この点から本校に目を向けると、校風である「文武両道」の精神のもと、日々の学習活動、生徒会活動、部活動など様々な活動に、生徒たちが一生懸命取り組んでおり、一人一人が人として確かな成長をしていると実感すると共に、頼もしさを感じております。

これからも加茂高校らしさが保たれることのないよう、様々な教育活動を通して、高い学力・健康でたくましい心身、豊かな人間性を備えた有意な人材育成に全力で努めていきたいと思っております。

PTA役員紹介

会長	肥田 彰吾
副会長	後藤 文岳
副会長	小栗 幸恵
副会長	山本雄一郎
副会長	今井 英樹
会計	梶田 達也
会計	井戸 伸

1年学年委員長	高井 実枝
研修部長	横田 志保
2年学年委員長	柘植みゆき
広報部長	岩井和香代
3年学年委員長	水野 敬子
進路学習部長	鈴木 理恵
役員選挙委員長	日比野宅芳



新設 自習室を

平成31年4月、2棟3階東端の空き教室を利用した、自習室の木質化工事が終了しました。現在朝の始業前と放課後に平均15名ほどの生徒たちが自主学習に利用しています。自然の木の香りが漂う落ち着いた環境が生徒たちに好評で、昨年度より利用者数が大幅に増えました。主に3年生が利用していますが、1・2年生も大歓迎です。学校開放日などで保護者の皆様が来校される折には、ぜひご覧下さい。

担任学年主任等紹介

前列：正担任 後列：副担任 ○：学年主任



山田 至子 数学
 杉山 典孝 保健体育
 菅田あゆみ 英語
 木村 真子 英語
 吉井ゆり子 家庭
 藤原 一成 美術
 菅野 浩一 数学
 藤原 利江 保健体育

渡辺 俊史 7組 数学
 中島 裕仁 6組 理科
 藤田 佳祐 5組 国語
 安田 善紀 4組 地理公民
 ○山中 徹也 3組 国語
 天池 光広 2組 理科
 石井 清孝 1組 美術公民

1年生学年団

次へ

お子様が発張の中、加茂高の門をくぐった入学式から今までであったという間だったと思います。

その間、慣れない環境への「戸惑い」や、思うようにいかない「焦り」が多くあったことと思います。保護者の皆さまも、お子様の頑張る姿を暖かく見守って下さったことと存じます。クラス担任一同、厳しさと暖かさを持ち、一人の高校生としてお子様に寄り添いながら成長を願い、日々接しております。お子様がこれから加茂高校生としての日々の中で、一人の大人として成長していく姿を見るのを楽しみにしています。



吉田 大博 保健体育
 平野 弘 英語
 宮崎 遼 英語
 香木 悠一 数学
 河田 雅幸 理科
 高木小百合 英語
 木澤 麗和 理科
 佐藤 優介 地理公民
 西部 優一 保健体育

津田 健介 7組 数学
 鹿嶋 淳夫 6組 国語
 山本 徳郎 5組 数学
 井上 徳郎 4組 理科
 安藤 理絵 3組 国語
 吉田 智 2組 保健体育
 ○日井 慎彦 1組 地理公民

2年生学年団

前へ 前へ

2年生は昨年度よりも学習内容が深く難しくなります。部活動など学校行事でも学校の中核にならなければなりません。

「今から数年後、あなたはやったことより、やらなかったことに失望する」との言葉は有名なアメリカの作家の言葉です。お子様が笑顔で元気で毎日登校できる様、いろいろな活動に挑戦して充実した毎日が過ごせる様、学年団一丸となって支援させていただきます。



瓜田 裕哉 英語
 歴馬美穂志 保健体育
 佐藤 正樹 英語
 市村 康晴 理科
 渡辺 昌文 数学
 横山也寸志 国語
 河合 昌平 数学
 松元由紀仁 地理公民

横山 友香 7組 数学
 水口 智人 6組 理科
 三田村広隆 5組 国語
 酒井 繁昌 4組 理科
 門 有宏 3組 数学
 ○後藤あやみ 2組 英語
 長尾 真人 1組 保健体育

3年生学年団

FLY High

いよいよ高校生活最後の年。最高学年として部活動や行事に全力で取り組むと共に、進路実現においても高い目標をもち、最大限の努力をしてほしいと願っています。希望する進路を達成するためには、学力の充実はもちろん、進路情報を集め、自分の実力を把握し、見直しをもって学習することが大切です。後悔しない進路選択ができるよう、学年一同、全力でサポートしていきます。ご家庭においてもお子様の将来を見据え、ぜひ十分な話し合いをお願いします。長い受験期をお子様がいっしょに乗り越えられるよう、励ましてご支援をお願いします。

部活動顧問一覧

事務・担任以外

部活名	顧問名	部活名	顧問名
陸上競技	杉山 吉川	吹奏楽	三田村 青井 柿 (部室長)
柔道	酒井 佐藤正	美術	藤原 山中
剣道	長尾 瓜田	文芸	安藤 (井戸)
弓道	井上 野村	演劇	横山 高木 (山内)
野球	吉田 中島 佐藤	音楽	曲輪 曾我 (鈴木)
卓球	河合 安江 (太田)	自然科学	木澤 河田
バスケット	青木 野原	放送	市村
トボール	津田 松元	パソコン	石井
バレー	出川 水口	新聞	渡辺
サッカー	門 小島	囲碁・将棋	後藤 (武山)
ラグビー	歴馬 宮崎	手話	澤田 小島 (武蔵)
テニス	矢崎 平野	コーラス	木村 (櫻井)
ボート	天池 栗田	茶室	
ソフトボール	白井 古田 赤塚		



小島 智巳 理科助手
 大矢 文彦 係長
 井戸 由美 国語
 杉山 敬 職員
 安江 清美 職員
 野村 美和 理科助手
 柿 香里 事務部長
 安江祐三子 事務部長
 小島 礼子 理科助手
 坪井 敏一 司書
 小島 治郎 事務部長
 山田 亞正 主査
 佐藤 正樹 図書部長
 渡辺 昌文 事務部長
 室岡 文哉 主査

田下 真樹 事務中門職
 吉川 敬幸 事務部長
 藤原 一郎 教諭
 上村 ともみ 事務部長
 藤原 敬博 校長
 天池 光広 教諭
 瓜田 裕哉 進路指導部長
 出川 尚之 生徒指導部長
 地理公民

[] : 講師

球技大会取材して

●暑い夏の下、行われた球技大会。暑さを吹き飛ばす歓声と応援の声。絶対勝つぞという熱い戦いが繰り広げられました。皆の眩しい姿に感動しました。

●紫外線の良い晴天でしたが、加茂高生徒さんたちは元気がいっぱい楽しんでいましたね。普段は勉強や部活動でお疲れ気味の皆さんもこの日は「今日は決めてやる!」秘めた気持ちでナイスマレーのたびに弾けていました。

●お手製メガホンがかわいかった。3年生は負けると自分のクラスだけでなく他の3年のクラスも応援していた。12時を過ぎた時間のゲームは応援の生徒が皆お昼ごはんに行ってしまうていなくて寂しかった。同じ部活動の部員同士で応援が盛り上がっていた。

●さわやかな初夏の日差しを浴びながら、楽しく一生懸命頑張る姿はとても眩しく、特に女子達の可愛い応援が印象に残りました。子ども達の頑張りが空に届いたのが、青い空に彩雲が出ていました。



加茂高トピックス

全国高校選抜大会

優勝!!

ボート部

男子舵手付きクオトルブル

(三嶋秀也、七野開生、水野友輝、桜福光、山岡悠)



全国選抜大会が3月24日、浜松市天龍ボート場で行われ、本校の男子舵手付きクオトルブルが優勝。同種目では、林聖門さん(現中部電力)を擁した2012年以來のV。

世界で活躍する

加茂高生!!

パワーリフティング

世界ベンチプレス選手権大会

第3位

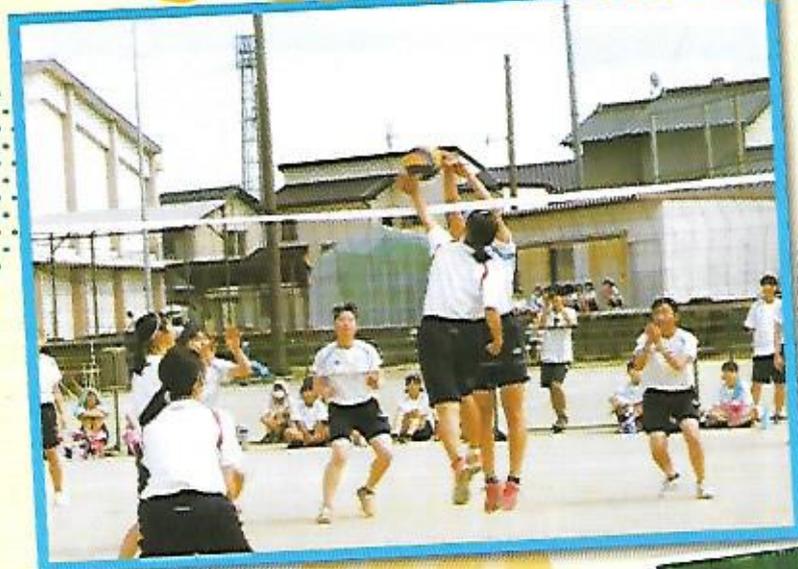
1年5組 渡邊心愛

世界ベンチプレス選手権大会が5月18日から25日まで千葉県成田市で行われ、本校の渡邊心愛さんがサブジュニア部門で世界第3位に輝いた。



5月22日(水)

球技大会



成績結果

		優勝	準優勝	第3位
バレーボール	(男子)	2-6	3-4	3-6、3-2A
	(女子)	2-2	3-3A	3-3B、1-7
バスケットボール	(男子)	2-5	3-6	2-6、2-4
	(女子)	2-6	3-1	3-2、1-6
サッカー	(男子)	3-4	3-3	3-5、2-6
ドッジボール	(女子)	3-3	1-4	3-1A、1-5

●今年の球技大会は雨により延期になってしまいました。翌日、とても天気の良い中開催されました。バレー、バスケ、サッカー、ドッジボール。どの球技もみんなの頑張っている姿が眩しかったです。わが子も、真っ赤に汗流して帰る。一つかたあー」の一言が嬉しく感じました。

●どの球技でも学年を越えた激しい対戦が見られました。仲間同士の励まし合い、喜び合う姿も多く見られクラスの団結も深まったのではないのでしょうか。

●当日、見に行くことができなかった残念でしたが、クラスの男子全員でサッカーに参加し、一人人数が足りない中頑張っておりました。見ることができず、見ることができず、見ることができず……

スマイル!!



●最初はとても緊張していたけど、発表を何度もするうちにマレーシアの人たちと盛り上がりやすくなったこと。

●特に頑張ったのは質疑応答です。本番では想像もしていなかった質問がたくさんきて、大変でした。

●後輩に伝えたいことは、国際大会で発表することは減多に経験しないと思うので、とにかく自分の出せる最大限の力を出して笑顔で楽しく頑張ってください。

平成31年4月13・14日、中高校生の研究発表や交流の場として開かれる「サイエンスキャットスル」のマレーシア大会で、本校の生徒3名、渡邊空美さん、一瀬花帆さん、伊藤綾那さんがホスター発表部門で研究を示したホスターを紹介し、質疑応答に臨み、ベストホスター賞を受賞した。

サイエンスキャットスル マレーシア大会で発表

④ 定時制のページです。

多様性と加茂高校

〈定時制〉の生徒たち

副校長 浅野 忠一郎

加茂高校は、その設立当初より定時制の課程を持ち、時代や地域の要請に応え、多くの有能な卒業生を輩出してきました。昨年度は、全日制、定時制ともに創立70周年を迎えました。この70年間で定時制課程の様子も時代の変遷とともに大きく変わりましたが、自らの夢や希望に向かって邁進する姿は不変です。

その加茂高校定時制の特徴の1つに日本語を母語としない外国籍や外国人の生徒が7割以上を占めることが挙げられます。このことは、加茂高校定時制の学校生活やその有り様に大きく影響しています。たとえば学校に、ポルトガル語や英語、タガログ語が話せる職員の方が在籍し、生徒の日本語対応支援や保護者への通訳、翻訳をお願いしています。それだけではなく、国や生活環境の違いによる慣習や価値観の相違等をつなぐ文化の架け橋の役割も担っていただいています。休み時間には様々な言語が飛び交い、まさに異文化交流の様相です。生活の価値観や教育観、職業観等も多様でそのような備

価値を理解するまで少し時間がかかりましたが、どのような考え方が素晴らしいか、これはちがっているという次元でもありません。お互いの相違や多様性を認め、相手を尊重し、理解していくという社会性を育成する上でたいへん有意義な環境のように思えます。

また、加茂高校定時制は授業開始が夕方からということもあり、就業との両立や生徒の興味関心の実現、生活特性等その入学動機もいろいろです。このように加茂高校定時制は、学校の特徴や生徒の思いや考え方も様々なので、多様な価値観であふれています。このような環境の中で、自分や自分の考えと違つと、すぐさま壁を作ったり排除するのではなく、様々な状況や考え方が存在することをあたりまえのこととして受け止め、お互いを尊重し、理解し、より深めていく姿勢を学んでほしいと願っています。

我々、職員は、そのような彼らに寄り添いながら、少しは道しるべになれると幸いです。



職員紹介

熊澤 (4L)
若宮 (2M)
尾関 (進路指導主事)
田口 (1M)
渡邊 (2L)

國枝 (養教)
高瀬 (3L)
横山 (教務主任)
藤井 (校長)
浅野 (副校長)
渡辺 (教務)
武藤 (生徒指導主事)
今井 (1L)

部活動

サッカー部

県大会 (6月1日)
三チームによりリーグ戦
一試合目 〇2-0 阿木
二試合目 〇1-0 垂陽F
優勝 (全国大会出場)

西島 エリキ

私たちサッカー部は、新入部員5人を迎え、14人全員が一致団結して日々練習に取り組みできました。迎えた県大会、上級生は昨年度までの悔しい気持ちを変え、新入生は緊張しながらも練習の成果を発揮し、全員が全国大会を目指して全力でプレーしたことで、6年振りの優勝をすることができました。今まで頑張ってきた練習に取り組みしてきた全国大会では、一つでも多く勝てるようこれからも努力し、チームワークを生かして強いチームにしていきたいです。



Basketball



バスケットボール部

県大会 (6月8日、15日)
一回戦 〇79-28 阿木
二回戦 〇81-16 泉岐商
決勝 〇69-70 城南
準優勝 (東海大会出場)

中野 ジェラルド

私たちバスケットボール部は、昨年度から引き続きチームワークを高める練習を継続し、初の全国大会出場を目指して努力しました。

決勝戦では昨年度優勝校に一点差で惜しくも負けてしまいました。これまでの練習の成果を出すことができました。また、まわりの方々の大きな応援があって、今回の準優勝という結果が得られたと感謝しています。チーム一丸となって勝ち取った準優勝を誇りに、東海大会で一つでも多くの勝利があげられるように、これからも部員全員で練習に励みたいと思います。

球技大会

(6月14日)

OSポウルにて、夏季球技大会が行われました。一年生にとって初めての球技大会となりましたが、どのグループも最高の笑顔が見られ、秋に控える照明祭にむけて、クラスの仲が深まることも良い機会になったのではないかと思います。



部活動報告



- ★全国高校選抜ポルト大会 **優勝!!** 男子舵手付きクオドルブル
三嶋秀也(3-7)、七野開生(3-2)、水野友暉(3-4)、柘植 充(2-5)、山岡 黎(3-5)
- ★世界ベンチプレス選手権大会 **第3位** 渡邊心愛(1-5)
- ★サイエンスキャッスルマレーシア大会 **ベストポスター賞** 渡邊空楽(3-4)、一瀬花帆(3-4)、伊藤綾那(3-2)

パワリフティング(5/18・25)
世界ベンチプレス選手権大会 千葉縣成田市
1年5組 渡邊心愛 第3位

サイエンスキャッスルマレーシア大会
(4/13・14)
ポスター部門
3年4組 渡邊空楽・一瀬花帆
3年2組 伊藤綾那
ベストポスター賞 受賞

▼ポルト部
全国高校選抜ポルト大会(3/24) 天竜ポルト場
男子舵手付きクオドルブル 優勝
三嶋、七野、水野、柘植、山岡
日大・立教・明治3大レガッタ(4/13・14)
男子舵手付きクオドルブル 2位
ダブルスカル
女子舵手付きクオドルブル 6位
ダブルスカル
女子舵手付きクオドルブル 2位
ダブルスカル
男子舵手付きクオドルブル 2位
ダブルスカル
女子舵手付きクオドルブル 3位
ダブルスカル
女子舵手付きクオドルブル 5位
ダブルスカル
男子舵手付きクオドルブルA 優勝
三嶋、七野、水野、柘植、山岡
女子舵手付きクオドルブルA 優勝
宮田、猪野、松本、稲村、小倉
以上2チームは全国総体・東海総体出場
男子舵手付きクオドルブルB 2位
(田口、赤多、中島、佐倉、佐伯)
ダブルスカル(稲山) 3位
シングルスカル(稲山) 3位
女子舵手付きクオドルブルB 3位
(大平、大畑、吉田、横山、高木)
以上3チームは東海総体出場
男子・女子共に総合優勝

▼ソフトボール部
高校総体(5/25)
準決勝 本校×美濃加茂 1-8

▼サッカー部
高校総体地区予選(4/27・28・5/1)
本校×八百平 7-1
本校×加茂農林 13-2
本校×関 0-0
1位リーグ進出

1位リーグ(5/3)
本校×関商工 1-2
本校×東濃実業 4-1
地区進優勝

県総体(5/12・18・19)
1回戦 本校×関 1-0
2回戦 本校×岐阜北 2-1
準々決勝 本校×中京学院大中京 1-7
県ベスト8

▼陸上競技部
県高校総体地区予選(5/3・4)
男子砲丸投 純崎 9m52 6位
男子鉛球投 純崎 26m81 4位
女子走高跳 松田 1m40 2位
西田 1m40 3位
走幅跳 波多野 4m90 1位
以上 県大会出場権獲得
(オープン)3段跳 波多野 10m26 1位
(オープン)4×100mR 54秒59 3位
(松田、西田、波多野、藤世)

県高校総体(5/24・26)
男子砲丸投 純崎 出場
男子鉛球投 純崎 出場
女子走高跳 西田 出場
女子走幅跳 松田 出場
走り幅跳 波多野 出場
三段跳 波多野 10m05
4×100mR (松田、西田、波多野、藤世) 54秒00

▼テニス部(男子)
県高校総体地区予選(4/20)
団体 本校×加茂農林 0-3
個人 ダブルス 中根・穂谷組ブロック決勝敗退
ダブルス 大野
シングルス 大野
個人 県総体出場権獲得
県総体出場権獲得

▼テニス部(女子)
県総体地区予選(4/20・21)
団体 本校×郡上 2-1
個人 シングルス 大野
ダブルス 大野
県総体出場権獲得
準決勝敗退

準々決勝 本校×盛澤瑞浪 0-2
県ベスト8

▼バスケットボール部(男子)
県総体地区予選(4/28・29)
本校×可児 47-84
本校×東濃実業 61-46
本校×関 67-44
5位決定戦 本校×関 県総体出場権獲得

▼バスケットボール部(女子)
県総体地区予選(4/27・28・29)
本校×可児 79-36
本校×東濃実業 49-43
本校×関 64-59
決勝 本校×関 県総体出場権獲得

県総体(5/18・19)
1回戦 本校×大垣西 64-54
2回戦 本校×妻木 39-61

▼バレーボール部(男子)
スプリングチャレンジカップII部(4/29)
1回戦 本校×岐阜山 0-2
県高校総体地区予選(5/5)
1回戦 本校×関有知 0-2

▼バレーボール部(女子)
スプリングチャレンジカップI部(4/27)
1回戦 本校×関商工 0-2
県高校総体地区予選(5/3)
1回戦 本校×関 2-1
県大会出場

県高校総体(5/19)
1回戦 本校×岐阜北 0-2

▼剣道部
県総体兼全国(東海)総体(5/18・25)
男子団体 本校×岐阜北 0-4
2回戦 本校×岐阜北 0-4
女子団体 本校×市岐高商 0-4
1回戦 清水 3回戦敗退
男子個人 佐光 2回戦敗退
長尾 3回戦敗退
女子個人 林 3回戦敗退

▼卓球部
県総体地区予選(4/28)
女子シングルス 2名が県総体出場権獲得
県総体(5/18)

男子団体 2回戦進出
女子団体 1回戦敗退
県総体(5/25・26)
女子シングルス 3回戦進出 1名
1回戦敗退 1名

▼ラグビー部
全国高校7人制ラグビーフットボール大会
県予選(4/20)
予選リーグ
合同B(加茂×合同A) 敗戦
合同B(加茂×合同B) 勝利
合同B(加茂×合同C) 勝利
県総体ラグビーフットボール競技(5/18・25)
合同(加茂×各務原) 勝利
合同(加茂×岐阜工) 勝利

▼野球部
春季中濃飛騨地区高校野球大会
トーナメント(3/22)
1回戦 本校×美濃加茂 1-11
敗者復活戦(3/24) 本校×関有知 4-7
地区大会敗退

▼柔道部
県総体(5/19)
男子個人81kg級 三嶋○内股×●深藤瑞澄
1回戦 三嶋○合せ校○足立(岐阜工)
2回戦 三嶋○合せ校○足立(岐阜工)
1回戦 野中○払腰○武藤(岐阜工) 2回戦敗退
1回戦敗退

▼囲碁将棋部
全国高校将棋選手権岐阜県大会(5/12)
男子団体 嶺崎、長谷部、中島 第4位
梅田、井戸、野村
男子個人 予選通過3回戦
予選通過1回戦上村、木下、横山、今井
予選敗退 各務、田口

▼吹奏楽部
定例演奏会 可児市文化創造センター(4/29)

▼コーラス部
三三コンサート 東図書館(3/24)

加茂高の進路状況

進路指導部長 瓜田裕哉



この春、299名の卒業生がそれぞれ進学・就職しました。就職者は岐阜県警に1名、その他の生徒は、進学（留学会）及び進学準備（大学受験浪人生）となっています。

私立大学入試に関しては、一昨年度と同様に入学定員の厳格化のために、どの大学も難化しました。国立大学合格者数は新卒生（現役生）が53名でした。一昨年度は新卒生が52名でしたから、1名増という結果でした。普通科が1クラス減で卒業生の数は減りましたが、国公立大学合格者数を伸ばすことができました。地元の大学については、岐阜大学の合格者数は一昨年度とその前年度はそれぞれ3名でしたが、昨年度は倍増の7名が合格しました。今年度は、10名以上の合格者も夢ではありません。生徒・職員共に、進路実現に向けて、日々真剣に取り組んでいます。

また、生徒の適性や興味関心が大学で生かされるように、AO入試や推薦入試の活用も積極的に進めています。

のため3年生の担任は毎日生徒と個別懇談を行い、一人一人の最適な進路選択がなされるように努めています。

3年生に関する今年度の新たな取り組みは、総合学習の時間です。全員が「志望理由書書き」と「小論文講座」（講座受講・テスト受験）を行っています。また、5月下旬よりグループに分かれて、課題研究に取り組んでいます。自ら考え、共同して結論を導き出す自発的な力を育む取組を行っています。

1・2年生は、大学入試においてもその活用が考えられている「eポートフォリオ」を導入しました。生徒たちが自らの生活や行動を振り返り、次に繋げ、役立ててくれることを願っています。

また、今年度から3年間、加茂高校は県教育委員会より「地域課題探究型学習推進事業」の指定を受けました（県内13校）。1年生の総合学習の時間などに、インタビューやフィールドワークを通して、郷土の豊かな教育資源を活用して探究型の学習を推進していきます。本校は、伝統ある可成地域の進学校です。生徒たちが学力と人間力（人間性）を高め、優秀なリーダーとして、将来活躍してくれることを期待しています。

2019年度入試合格者数一覧表

	合格者数
国公立四大	55(2)
私立四大	430(4)
公立短大	5(0)
私立短大	16(0)
医療系専門学校	25(0)
その他の専門学校	34(0)
準大学	1(0)

() 内は内数で過年度生数

加茂高校は県教育委員会よりもう一つ指定事業を受けています。今年度で3年目になる「進学指導重点校事業」です。ハード面での取組は、昨年度に引き続き自習室の整備です。床や壁が木質化された落ち着いた部屋で、一人一人が学習に集中できるように、昨年度に引き続き今年度も新たに12台のブースを入れます。また、ソフト面でも昨年度と同様、夏季補習中に予備校講師による授業を生徒が受講し（希望者）、教員も指導法の研究を行います。また、外部講師を招聘し、教員の授業力を高める研修も行います。

今年度も、生徒たちが思い描く希望の進路を実現できるよう、職員一同最善を尽くします。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

編集後記

全国各地で最高気温を更新した令和元年5月。球技大会は前日からの強い雨で一日延期になりましたが、空には鮮やかな虹色の帯！環水平アークという現象が思い出の日に彩を加えてくれました。雄叫びのような声、メガホンを叩く音、ボールの弾む音、ハイタッチする姿など目から耳から熱感を体感しました。今号の注目は他に、マレーシアでの国際学会の報告とポート部の優勝です。生徒の活躍を伝えられることをうれしく思います。

(広報部長 岩井和香代)

大学見学会に参加して



6月20日(木)、参加者40名で愛知淑徳大学と中京大学へ行ってきました。

愛知淑徳大学では、3つの班に分かれ担当者の方から大学内の教室、実習室を見たり、学んでいる学生の真剣な姿を見ることができました。

中京大学では、加茂高卒業生の学生から通学方法や学生生活についてお話を聞くことができました。

大学の環境、設備、目的などがわかり良かったです。参加してくださった皆さんありがとうございました。

(進路学習部長 鈴木 理恵)